

質 問 要 旨

平成 23 年 2 月 18 日（金） 15 時 30 分～16 時 15 分

主な質問のやりとりは以下の通りです。

【質問】 何故、双子のホッキョクグマのイコロ・キロルのうち、キロルが移動する？

【回答】 「人なつっこく順応性が高いのでそちらが選ばれました。浜松市動物園にいてもうまくや
っていけると思います。」

【質問】 昨年の方は「ヨーロッパも視野に入れる」では？

【回答】 「ヨーロッパ、アメリカ、ロシアなどと情報交換は行って来てはおりますが、日本の動物園
の認知度が低く、まだ「やりましょう」と言うことになっておりませんが、諦めてはおりません。こ
れからもアンテナを張って努力して行きたいと考えています。」

【質問】 キロルを移動する理由は？

【回答】 「小競り合いの怪我を避けるためと、バフィンが天王寺に行き、ホッキョクグマがいなくな
る浜松動物園での教育的展示効果が移動の理由です。」

【質問】 1 年前にこういったプロジェクトを立ち上げて、これまでの成果とこれからは？

【回答】 「昨年の非常に早い時期に釧路にいたデナリとクルミが交尾しました。それがきっかけとな
り、また北海道内という比較的距離の近い動物園同士で、密にコミュニケーションが図れたこともあ
って、短時間のうちに今までなかなか踏み切れなかった繁殖の可能性を広げる動きにつながったと思
います。

ペアを代えてみて初めて交尾をした個体もでてくるなど、こういう動きの重要性を改めて認識でき
ました。種別繁殖検討委員会のなかでも、この北海道の動きが報告され、これを全国に広げるべきだ
という方針につながったと聞いています。」

【質問】 旭川に移動するピリカの繁殖優先順位は？

【回答】 「昨年、イワンとルル、それにサツキが交尾し、良いところまで行ったので、今年もまずそ
のペアの繁殖が優先と旭山動物園では考えていると聞いています。ピリカは飼育環境に余裕がある旭
山に移動となりましたが、まだ若いのでイワンとのペアリングはその中でのスケジューリングや施設
面での調整が合えばということなので、「ペアリングも視野に入れた」という表現にしています。」

【質問】 デナリの血筋ばかり広がることについては？

【回答】 「デナリとララ以外の血統をより広げていくことも必要であると認識しておりますが、今の
状況はそうは言われていられない状況でもあると認識しています。繁殖可能なうちに実績のあるデナリ
に期待したいと思います。」

【質問】 動物園園間の移動がこれまで、なかなか踏み切れなかった理由は？

【回答】 「それぞれの園館が持つ様々な事情や、ファンの思い、スポンサー等の事情、麻酔のリスク
を嫌ったという側面もあったと思います。それに嫁取り、婿取りの言葉に象徴されるように、ペアは
固定的なものという固定観念も根本にあったと思いますが、今は、それではすまされない状況になっ
てきていると思います。今回の移動は、各動物園のそうした危機感の表れだと思っています。」